

文責はいずれも本人です。

- イノシシ対策、猟友会に感謝
- 平戸大橋入口交差点渋滞問題の解決策は生活ごみを考えよう

池田 稔巳（政和会）



① イノシシによる農作物への被害が後を絶たない。平戸・田平の猟友会の方々に捕獲や埋設を頼っているようだが、現場の労苦は確認できているのか。また、捕獲されたイノシシ成獣2268頭の内、373頭が本市にあるジビエ事業者によってジビエ利用され、猟友会の埋設負担軽減になったと聞いている。今後も協力体制の充実を図るべきと考えるがいかがか。

② 農林水産部長 両猟友会の人数は令和5年で108人、平均年齢も65歳であり高齢化による埋設の負担も大きいとお聞きしている。青年農業者や認定農業者の方々と連携を取りながら参画を促していきたいと考えている。また、ジビエ事業者とも話をさせていただきながら考えてみたいと思う。

③ イノシシは平戸市のクリーンセンターでも焼却できない。熊本研修の折イノシシを一回100kgほどを肥料化できる機械があったが、近隣自治体と協力して対応することはできないのか。

④ 市長 ご指摘の堆肥化できる装置のことは私も武雄市で聞いている。今後、自治体連携の中で解決策が見出せるか

⑤ 生活ごみの量・ごみ出しのマンナー！ごみ袋について尋ねる。

⑥ 市民生活部長 平戸市の令和4年度搬入量は、可燃ごみで7万5799トン、資源ごみで8299トンでクリーンセンター全体の58%を占めている。マンナー面では警告ステッカーを貼られたごみもあり、市民の皆さまには、ご理解とご協力をお願いしているところ。ごみ袋大（1枚40円、45リットル）分の焼却処理費用は280円かかっている。

⑦ 生活ごみの量・ごみ出しのマンナー！ごみ袋について尋ねる。

⑧ 市民生活部長 平戸市の令和4年度搬入量は、可燃ごみで7万5799トン、資源ごみで8299トンでクリーンセンター全体の58%を占めている。マンナー面では警告ステッカーを貼られたごみもあり、市民の皆さまには、ご理解とご協力をお願いしているところ。ごみ袋大（1枚40円、45リットル）分の焼却処理費用は280円かかっている。

- 鄭成功生誕400周年記念事業に向けた取り組みについて
- 世界遺産を活かした観光戦略と今後の課題について
- 障がい福祉行政について

綾香 良浩（新波クラブ）



① 市長はどのような思いで400周年を迎えようと考えているのか。

② 市長 観光誘客、国際交流、物産振興の3つの柱を中心に今まで以上に充実した内容で取り組みたい。

③ 来年の鄭成功まつりを考えたとき、全体的なプロデュースを含めたプロの力が必要ではないか。

④ 文化観光商工部長 イベント内容を充実した前夜祭、生誕祭にしたいと考えており、専門的な知識や経験のある方などにアドバイスを助言をいただきながら慎重に検討したい。

⑤ 400周年事業が国際的な式典になるように期待したいが。

⑥ 市長 400年に一度という節目に、未来にとってもこういう偉人が平戸で生まれたという記念すべき金字塔を建てる意味でしっかりとプロジェクトになるよう進めていきたい。

⑦ 中江ノ島、春日集落と安満岳における世界遺産については、観光案内板が十分ではない。より効果のある周知看板が必要であると考えている。

⑧ 文化観光商工部長 世界文化遺産の観光案内としては、改善の余地があるものと認識している。

- 目的税の使途と地域の振興のあり方について
- 職員の資質向上について
- 人口減少社会に対応した組織の構築

吉住 龍三（政和会）



① 本市では収入の使途が特定される目的税として、入湯税及び都市計画税が課税されている。目的税の課税についての考え方は。

② 市長 入湯税は、観光振興等に要する費用に充てるため。都市計画税は、本市における都市計画事業に要する費用に充てるため課税を行っている。

③ 都市計画税は固定資産税の二重課税のように感じ、不公平感を抱いている方もいる。使途の状況は。

④ 財務部長 都市計画事業に対し令和元年度から充当できていない額がある。亀岡循環線の整備で借入れた地方債の繰上償還の影響で、その分も含めると都市計画税は充当できていない。

⑤ (市町村) 合併後、97億を超える繰上償還を行ってきたが、亀岡循環線に係る分は約3%くらいになると思う。この繰上償還した分も都市計画税を充当しなければならぬということ。他の繰上償還は市民の負担軽減を行ったが、都市計画事業に関する分は「立替払い」だったので、その分は充当させていただきます」というのと同じ効果になる。そういった意図を持って財政当局は繰上償還をしていないと思う。

⑥ 都市計画税の目的は、(事業実施により)土地や家屋の利用価値が向上することにあるが、この地域の利用価値は向上したのか。

⑦ 財務部長 住民の利便性の向上など、利用価値は上がっていると考えられる。

⑧ 市の中心地などは実勢価格が下がるなど実際の利用価値は落ちている。見直しをする時期ではないか。

⑨ 市長 都市計画事業の実施地域とそれ以外での地域の受益や利用価値に差があり、都市計画税の課税について見直しの検討を行いたいと思う。

⑩ 人口減少社会になり、自治体規模も縮小する。対応した組織構築は。

⑪ 総務部長 職員の資質向上と公務を通して郷土愛を醸成することができようになり人材育成に努めたい。

⑫ 前回の「法律による行政」の質問で見てきた課題への対応は。

⑬ 総務部長 (事務事業の事故) 報告書等については提出されていないが、再度事業について調査分析を行いたいと考えている。再発防止のための改善策をまとめた上で、その結果を議長のほうに報告させていただきたいと考えている。

平戸大橋入口交差点付近の渋滞緩和策を早急に実施することを求める意見書【要約】

意見書 可決

一般県道平戸江迎線（田平工区）については、去る7月12日に平戸大橋側の道路270mが部分的に供用開始されたところですが、この部分供用に伴う平戸大橋入口交差点の車線変更の影響により、交差点付近において、朝夕の通勤時間帯を中心に交通渋滞が慢性化している状況にあり、市民からも交通渋滞緩和を求める意見が多く寄せられています。

平戸大橋は、平戸島と本土とを結ぶ唯一の道路であり、交通渋滞時の救急搬送や火災などの緊急時には、緊急車両の通行に支障が出ることが危惧されるなど、人命にかかわる大きな問題となっていることから、一日も早い渋滞緩和が必要です。

平戸市民の安心・安全のためにも、関係機関とも協議の上、一刻も早く渋滞緩和対策を講じられるよう強く要望します。

令和5年9月20日 平戸市議会

【提出先】 長崎県知事、長崎県議会議長
長崎県公安委員会委員長、長崎県警察本部本部長



平戸大橋入口交差点付近の交通渋滞については、このほか9月5日に市長・議長・副議長・産業建設文教委員長・平戸市選挙区選出県議会議員出席のもと、長崎県県北振興局に対して市とともに改善を求める申し入れを行いました。